

令和6年上半期における刑法犯認知・検挙状況について【暫定値】

1 刑法犯認知・検挙状況

	R6.6末	R5.6末	増減数	増減率(%)
認知件数	350,350	332,800	17,550	5.3
検挙件数	133,674	125,256	8,418	6.7
検挙人員	90,725	85,661	5,064	5.9
検挙率(%)	38.2	37.6	+0.6ポイント	

2 主な特徴点（別紙参照）

(1) 認知状況

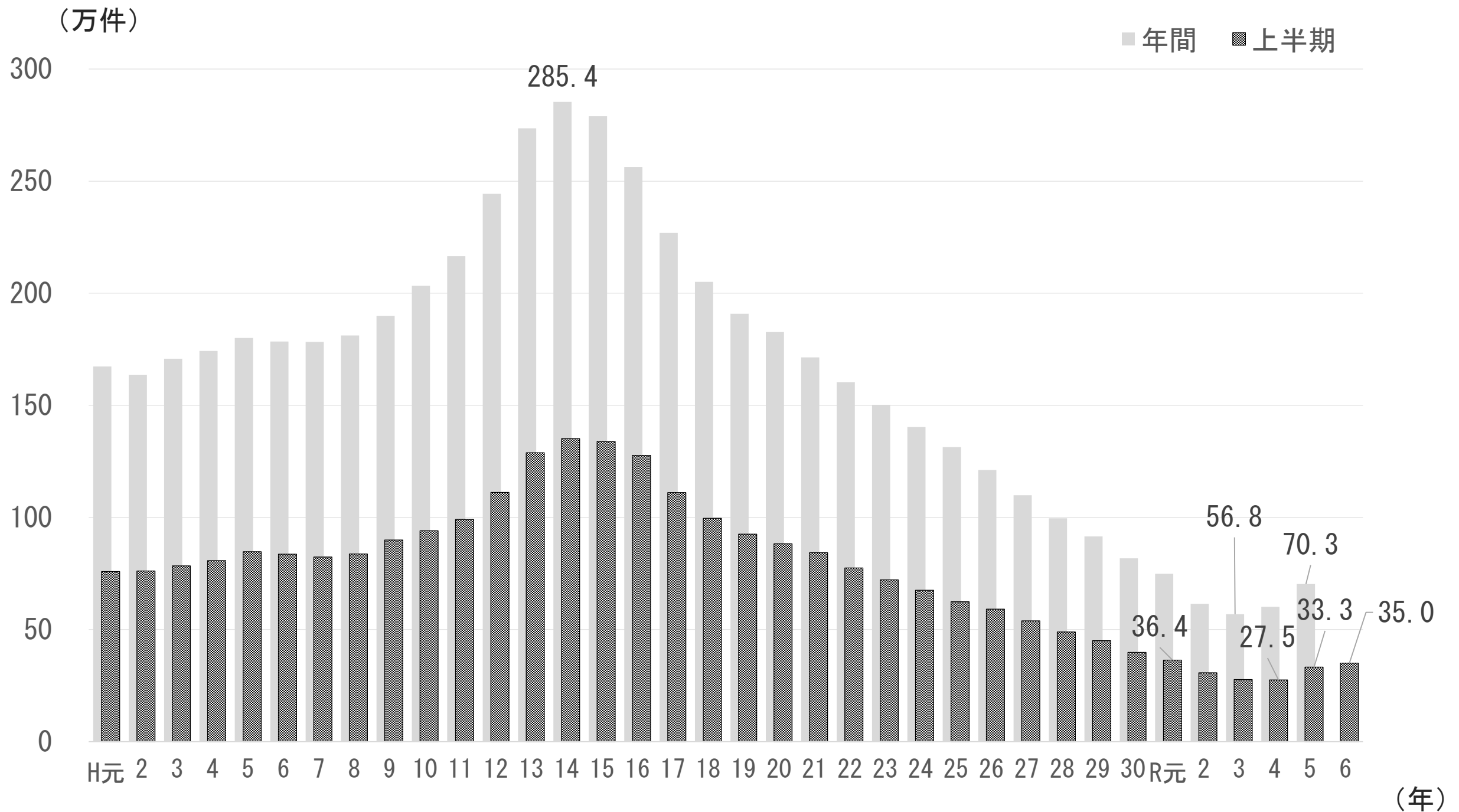
- 令和6年上半期における刑法犯認知件数は35万350件で、前年同期比で5.3%増加した。このうち、街頭犯罪の認知件数は11万4,952件で、前年同期比で3.8%増加、侵入犯罪の認知件数は2万6,645件で、前年同期比で3.8%減少した。また、重要犯罪の認知件数は6,810件で、前年同期比で32.7%増加した。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の前である令和元年上半期と比較すると、刑法犯認知件数は3.7%、街頭犯罪の認知件数は10.4%、侵入犯罪の認知件数は22.0%それぞれ減少、重要犯罪の認知件数は44.6%増加となっている。
- 窃盗犯の認知件数は23万6,951件で、前年同期比で3.6%増加しており、刑法犯認知件数の増加に対する寄与率<sup>\*</sup>は46.3%となった。また、詐欺の認知件数は2万7,195件で、前年同期比で27.7%増加しており、刑法犯認知件数の増加に対する寄与率は33.6%となった。

※ データ全体の変化を100とした場合に、構成要素となるデータの変化の割合を示す指標。

(2) 検挙状況

- 令和6年上半期における刑法犯の検挙率は38.2%で、前年同期比で0.6ポイント増加、重要犯罪の検挙率は82.7%で、前年同期比で1.4ポイント減少した。
- 令和元年上半期と比較すると、刑法犯の検挙率は0.6ポイント減少、重要犯罪の検挙率は1.3ポイント減少となっている。

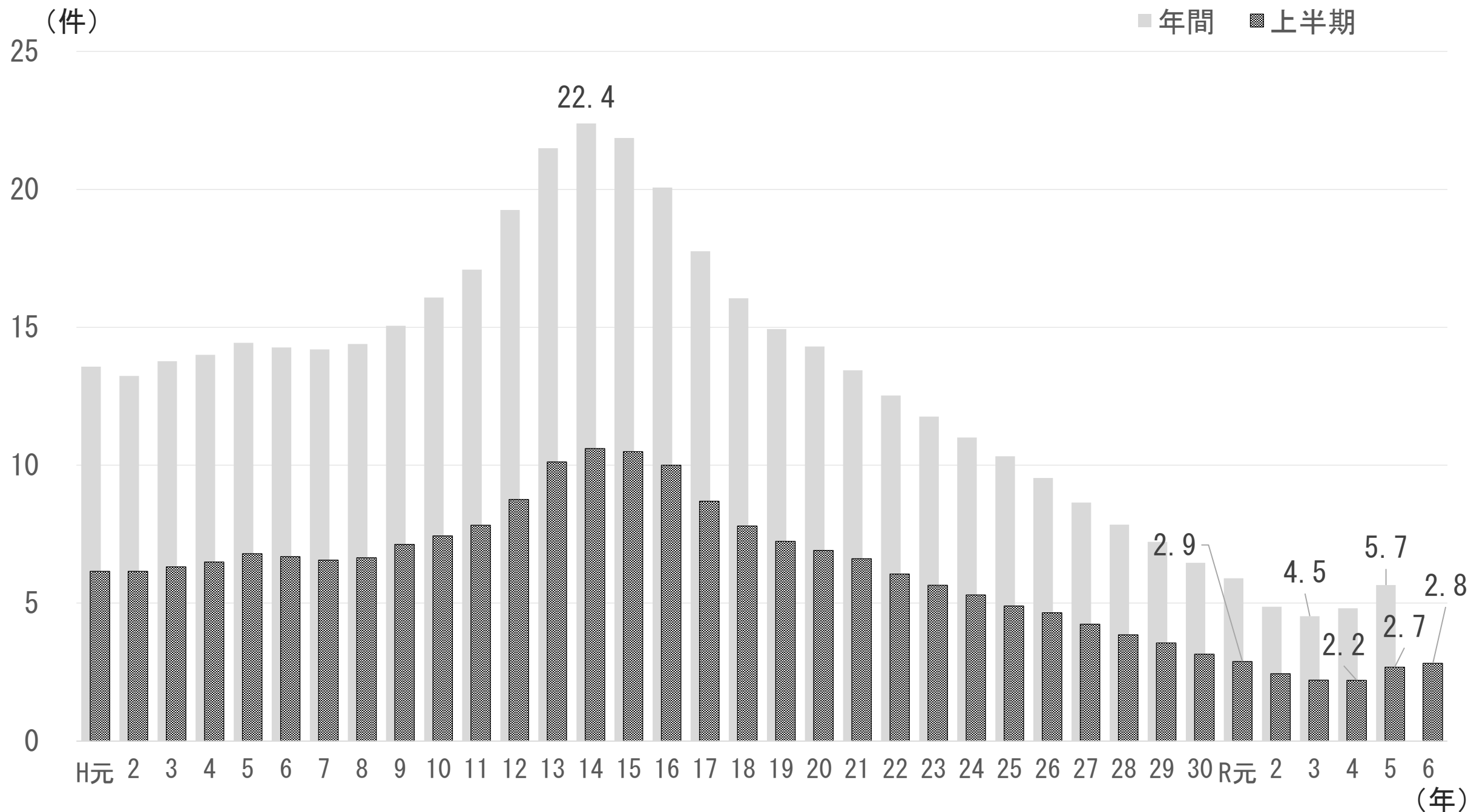
※ 令和6年上半期の数値は暫定値。以下同じ。



令和6年上半期における刑法犯認知件数は35万350件で、前年同期比で5.3%増加した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の前である令和元年上半期と比較すると、3.7%減少となっている。

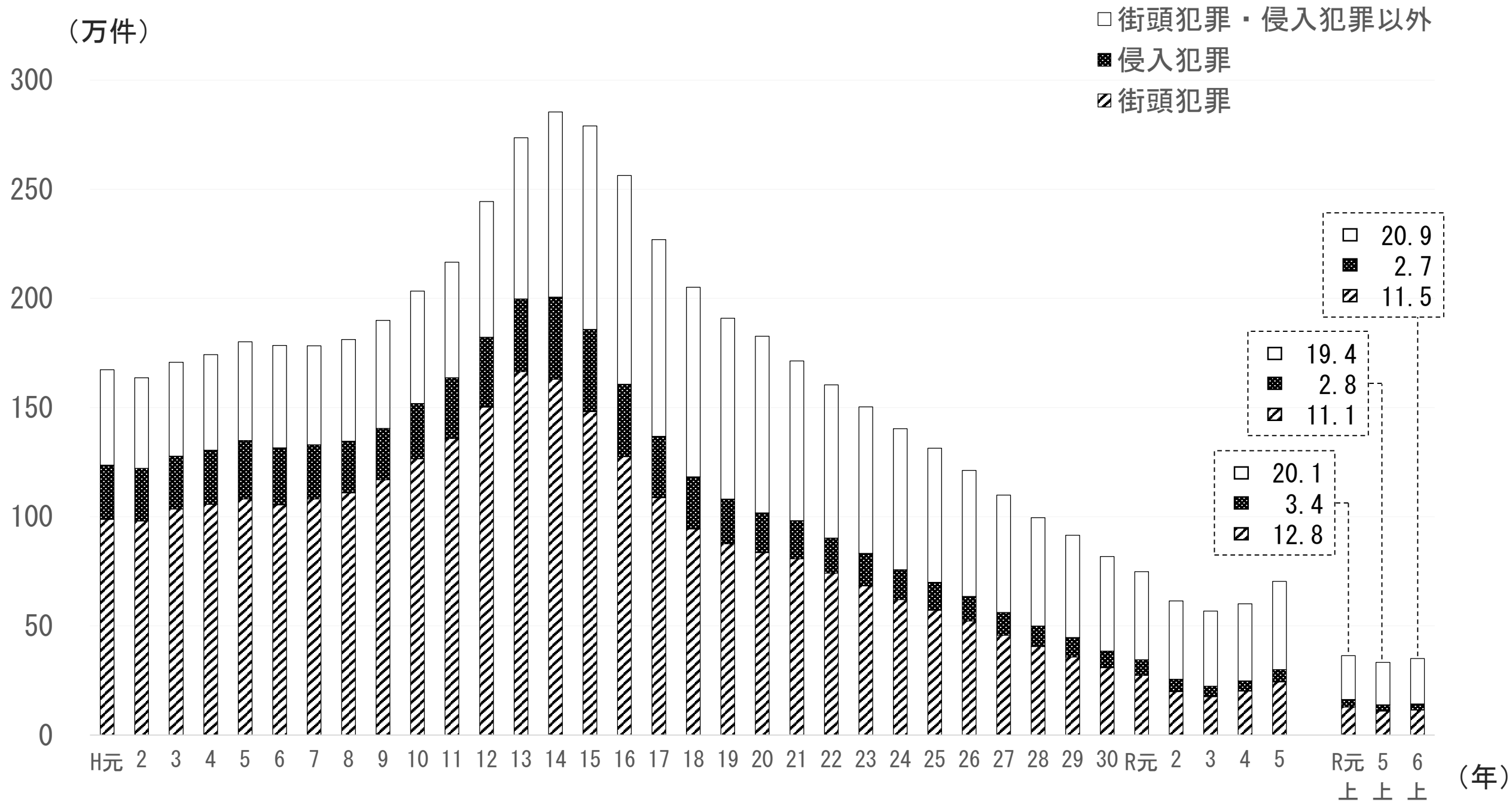
# 人口千人当たりの刑法犯の認知件数の推移

※ 人口は、総務省人口推計又は国勢調査人口による各年10月1日現在の総人口。  
ただし、令和6年上半期は令和5年の人口。



令和6年上半期における人口千人当たりの刑法犯の認知件数は2.8件となり、令和5年(年間5.7件)の上半期(2.7件)から増加した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の前である令和元年上半期(2.9件)と比較すると、減少となっている。

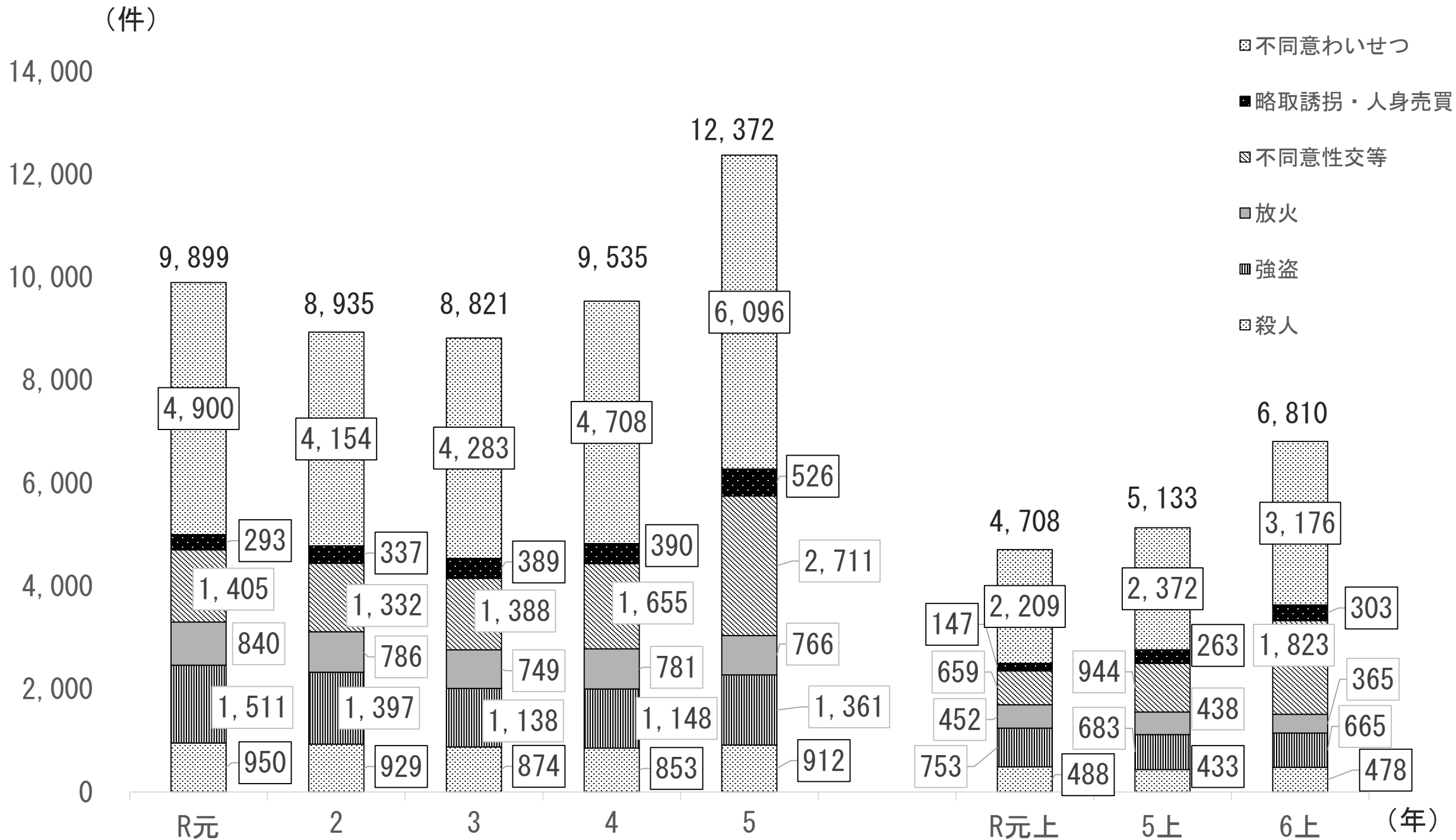
# 街頭犯罪・侵入犯罪の認知件数の推移



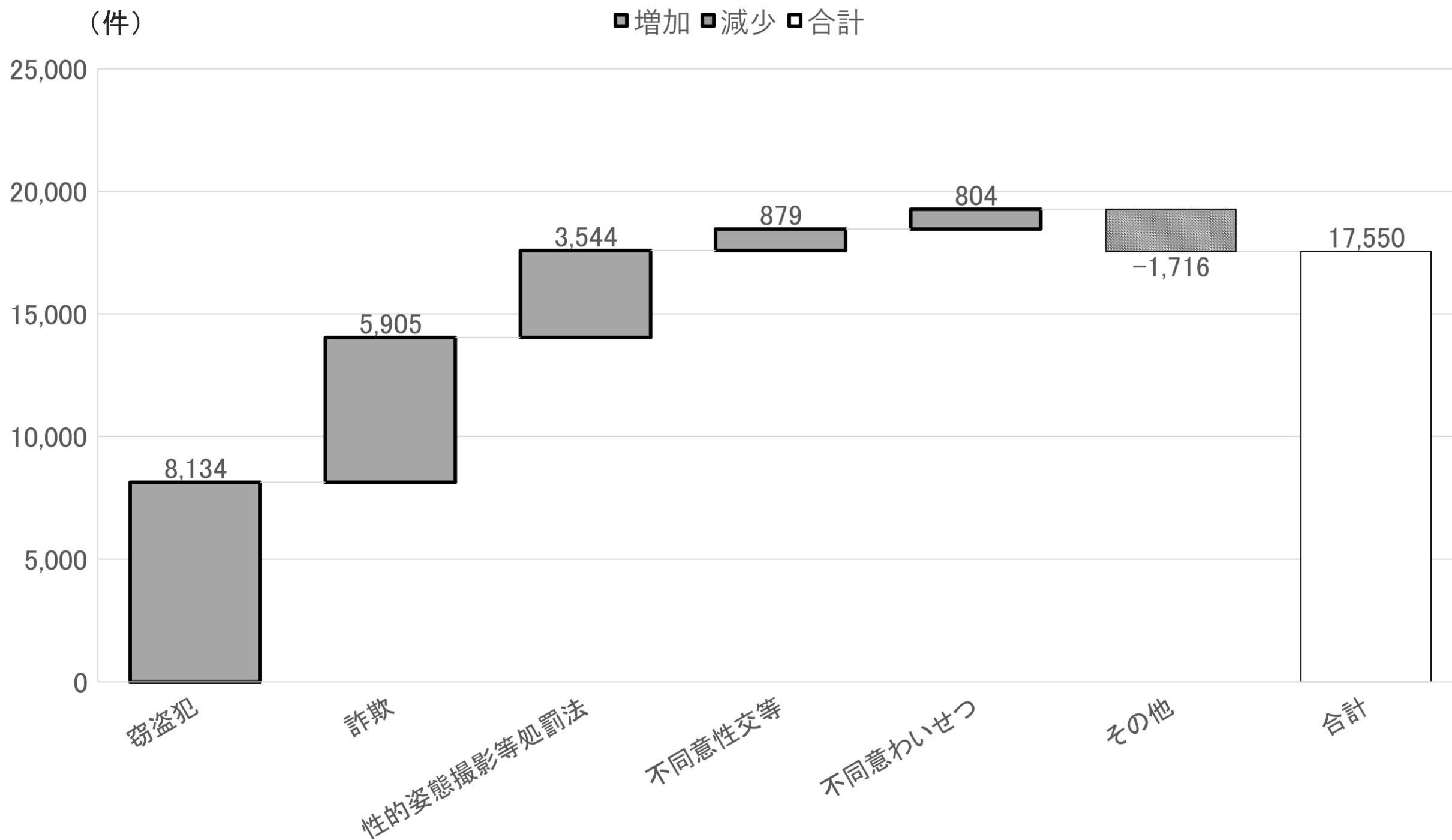
令和6年上半期における街頭犯罪の認知件数は11万4,952件で、前年同期比で3.8%増加、侵入犯罪の認知件数は2万6,645件で、前年同期比で3.8%減少、街頭犯罪・侵入犯罪以外の認知件数は20万8,753件で、前年同期比で7.4%増加した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の前である令和元年上半期と比較すると、街頭犯罪の認知件数は10.4%減少、侵入犯罪の認知件数は22.0%減少、街頭犯罪・侵入犯罪以外の認知件数は3.8%増加となっている。

# 重要犯罪の認知件数の推移

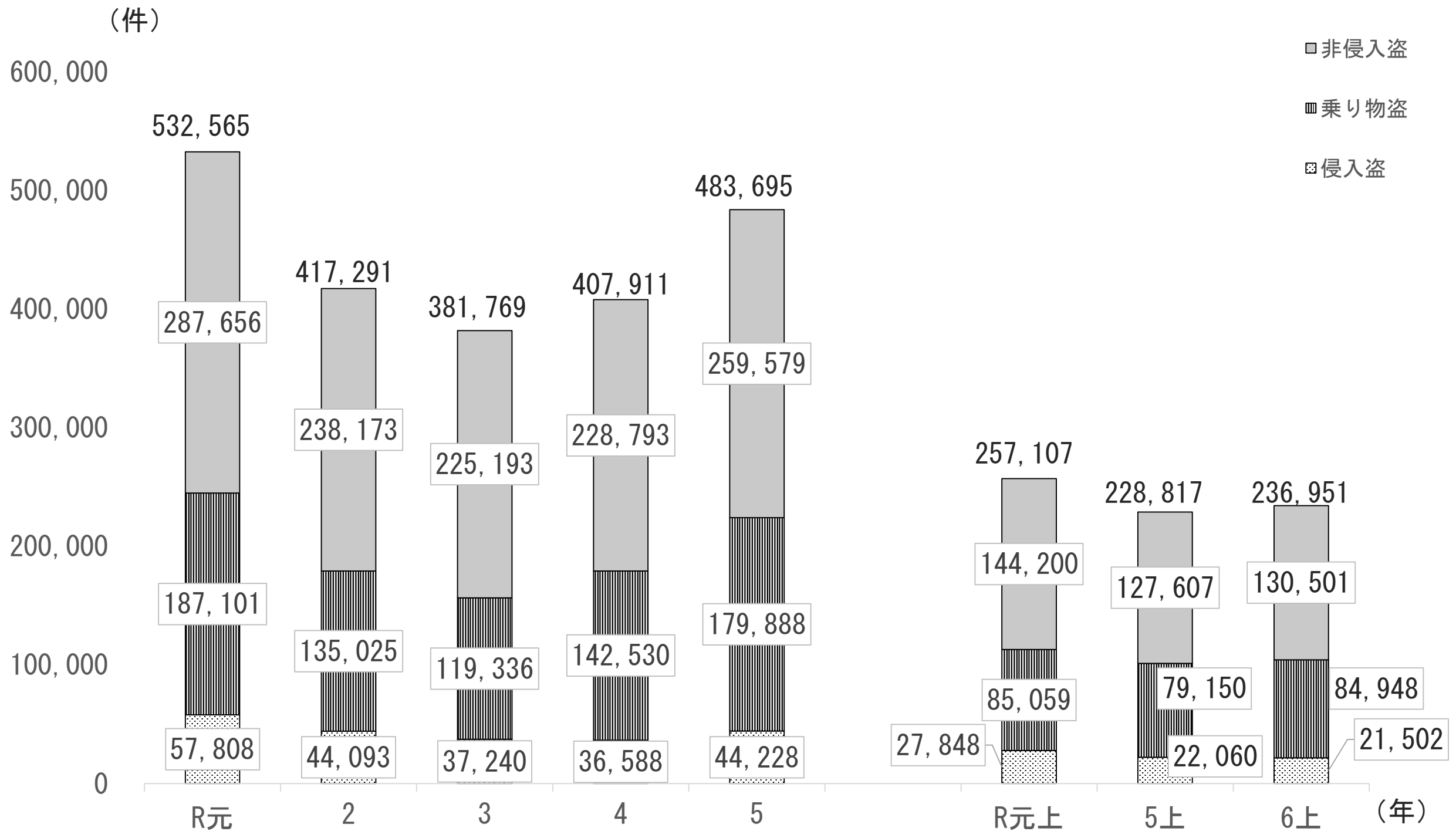
(重要犯罪：殺人、強盗、放火、不同意性交等、略取誘拐・人身売買、不同意わいせつ)



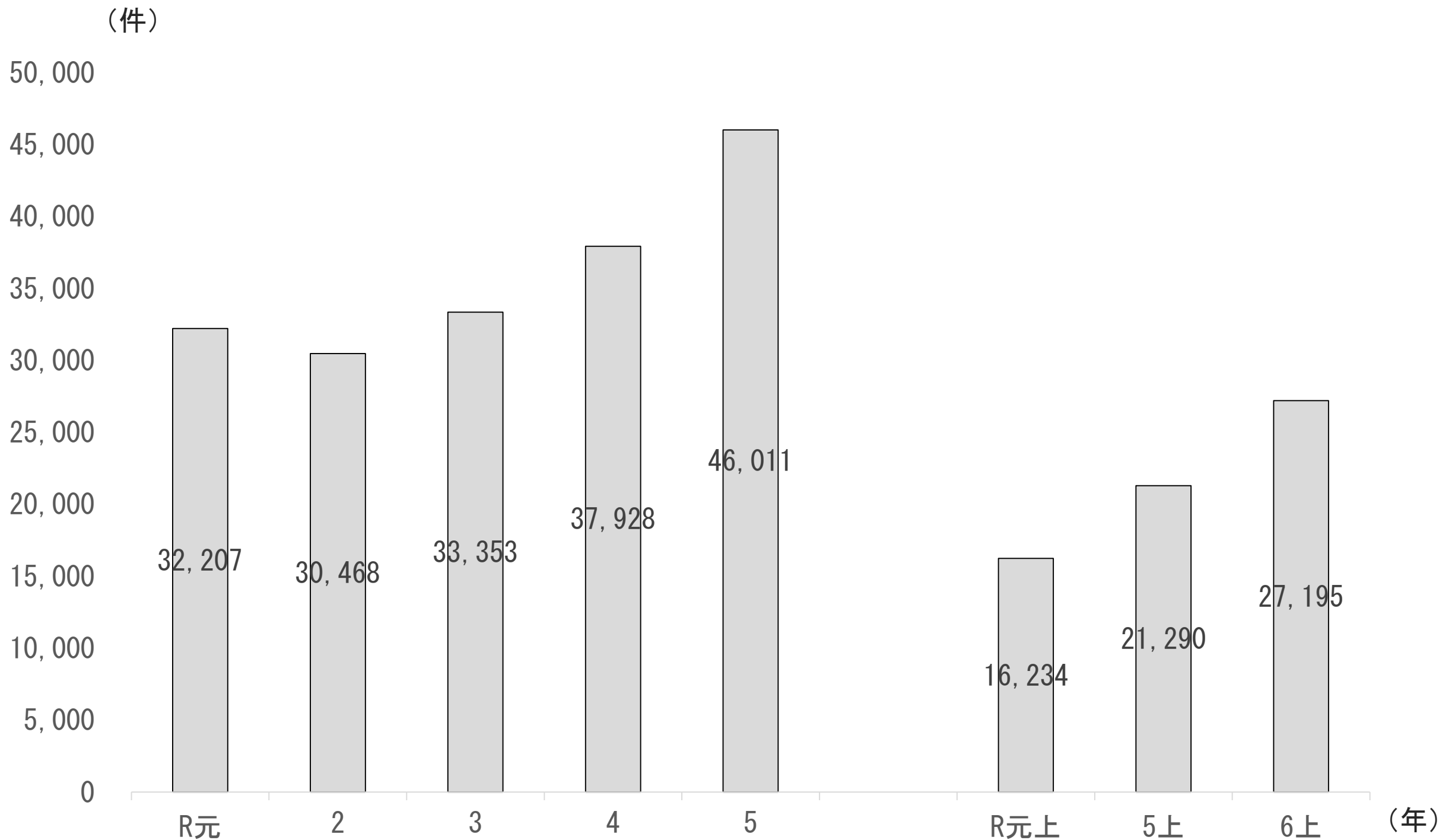
令和6年上半期における重要犯罪の認知件数は6,810件で、前年同期比で32.7%増加した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の前である令和元年上半期と比較すると、44.6%増加となっている。



令和6年上半期における刑法犯認知件数の前年同期からの増減の内訳を見ると、窃盗犯の認知件数が8,134件増加となり、刑法犯認知件数の増加に対する寄与率が46.3%であったほか、詐欺の認知件数が5,905件増加となり、刑法犯認知件数の増加に対する寄与率が33.6%であった。

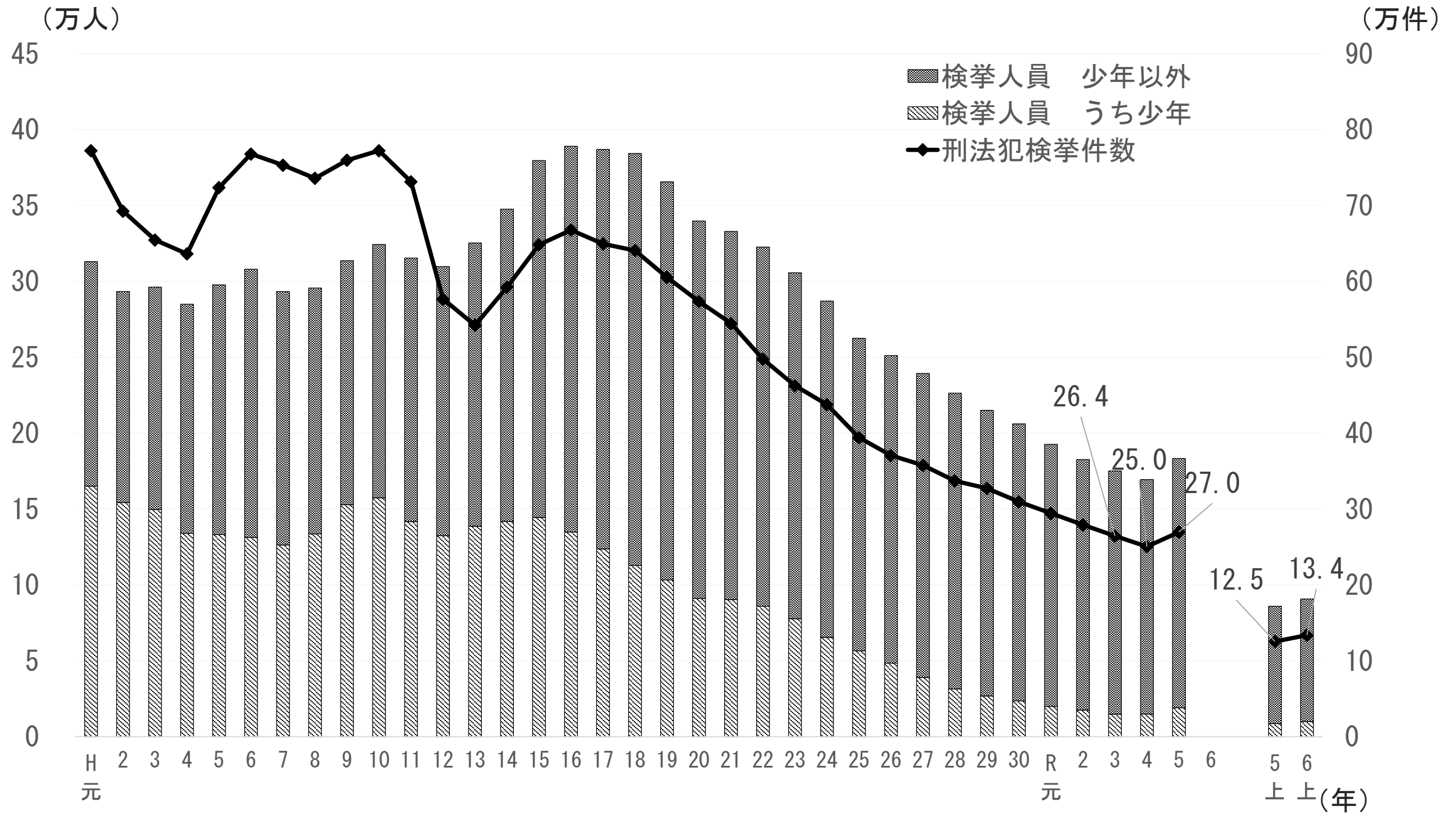


令和6年上半期における窃盗犯の認知件数は23万6,951件で、前年同期比で3.6%増加した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の前である令和元年上半期と比較すると、7.8%減少となっている。



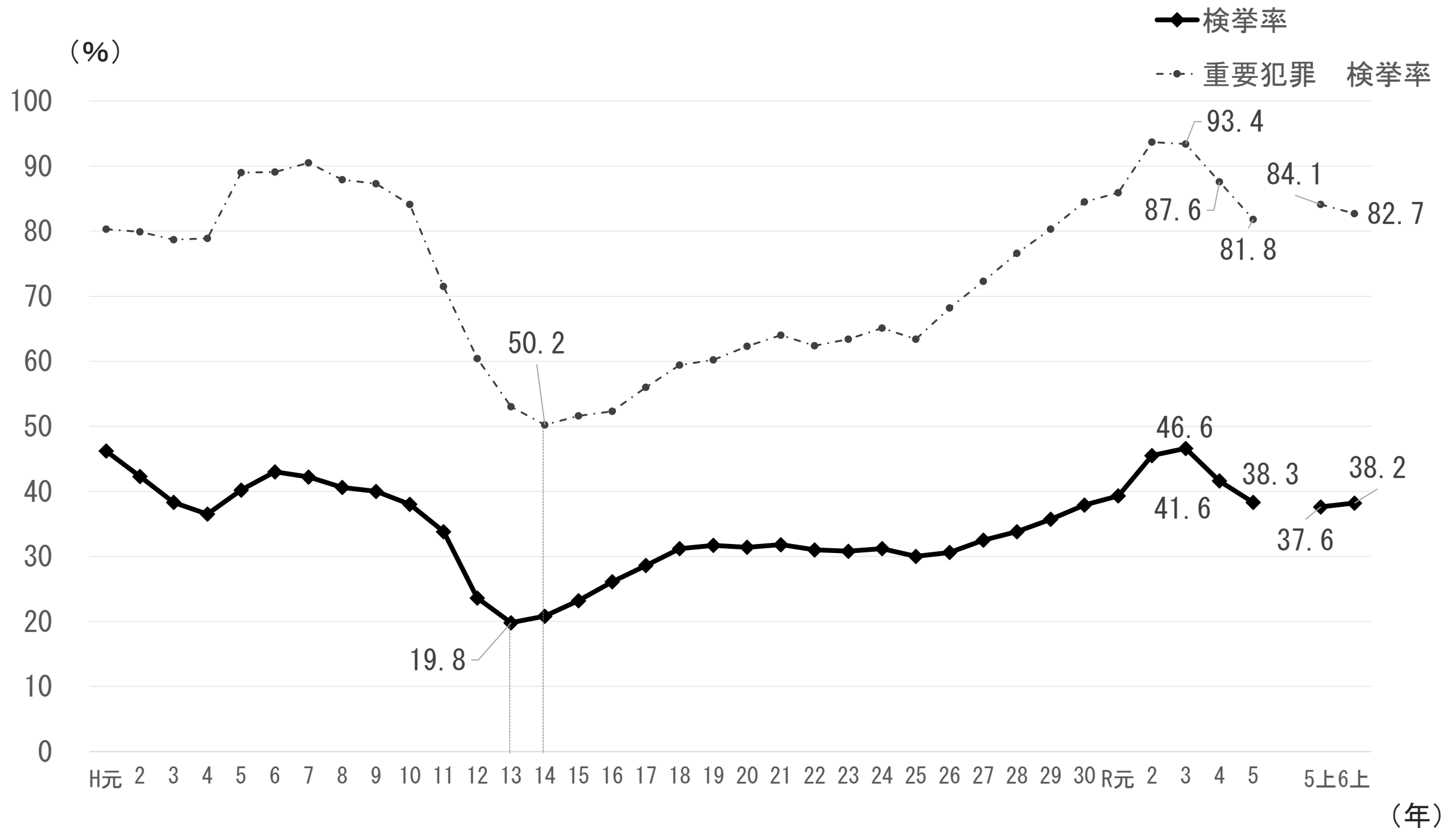
令和6年上半期における詐欺の認知件数は2万7,195件で、前年同期比で27.7%増加した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の前である令和元年上半期と比較すると、67.5%増加となっている。





令和6年上半期における刑法犯検挙件数は13万3,674件、検挙人員は9万725人で、ともに令和5年の上半期(12万5,256件、8万5,661人)を上回った(それぞれ前年同期比で6.7%、5.9%増加)。少年の検挙人員は9,783人で、検挙人員全体の10.8%となった(令和5年上半期は全体の9.9%)。

# 刑法犯の検挙率の推移



令和6年上半期における刑法犯の検挙率は38.2%で、前年同時期で0.6ポイント増加、重要犯罪の検挙率は82.7%で、前年同時期より1.4ポイント減少した。